

- ① 基本情報
- ② 履修 workshop
- ③ 聴講
- ④ 1日の流れ
- ⑤ 感想・反省

① 基本情報

② 履修 workshop

③ 聴講

④ 1日の流れ

⑤ 感想・反省

基本情報

- 参加セッション: First and Second Sessions
約4週間ずつ(オンライン)
- 期間: 2021年6月21日-8月13日
- 履修 Workshop: 各々のセッションで一つずつ
1st - Maximum Likelihood Estimation I
2nd - Data Science and Text Analysis
- 聴講: lectures や Causal Inference などなど
- *オンライン参加のため、現地参加の場合と情報が異なる
可能性があります

- ① 基本情報
- ② 履修 workshop
- ③ 聴講
- ④ 1日の流れ
- ⑤ 感想・反省

履修workshop I

workshop の概要

- workshop は、Officehours や TA セッションなどが数多く用意されており親切設計
 - 初日に履修する workshop について相談できる機会
 - workshop の登録は1セッションにつき4つまで
 - lecture については制限なし
 - 指定されるテキスト・論文は無くてもなんとかなる印象
- 一事前に全てに目を通す必要はない気がしました（時間もない）
- 以下の二つの workshop で、全ての宿題を提出し、成績評価の証明証をもらいました

履修workshop II

Maximum Likelihood Estimation I - 1st session

- 最初の履修相談の際にオススメされる講義の一つ
(もう一つは Regression Analysis II)
- カテゴリカルデータの扱い方
- 課題は毎週課され、週明けに提出
- プログラミング言語は Stata か R (先生は stata、TA が R に対応)

Data Science and Text Analysis - 2nd session

- テクスト分析の講義が周困になかったので履修
- 課題は毎週課され、週明けに提出
- 最初の週は R でのプログラミングに慣れることに費やされる
- 本格的にテキスト分析に入るのは2週目くらいから
- twitter からデータを取ってきて分析してみるというのが本セッションのゴール

① 基本情報

② 履修 workshop

③ 聴講

④ 1日の流れ

⑤ 感想・反省

聴講

幅広いメソッドに触れたいのなら聴講という選択も

履修登録だけして、宿題は出さない(成績評価はつかない)

Lecture

- 数学やプログラミング言語 (R, Python, LaTeX 等) などの講義
- 毎日1時間ほどで宿題もない
- オンラインだったので同時刻の重複履修も可だった

workshop の聴講

- Causal Inferenceなどを聴講
- 宿題を出さないので大分楽
- オンラインで録画が数週間公開されていたので視聴だけのものをいくつか登録

成績はつかないものの履修したという certification はもらえる
(session 後半に成績評価の証明と履修した certification の登録)
(*オンラインのときと現地参加では色々と異なるかもしれません)

- ① 基本情報
- ② 履修 workshop
- ③ 聴講
- ④ 1日の流れ
- ⑤ 感想・反省

1日の流れ

オンラインの場合

- ・ 平日は授業、週末は宿題が基本
- ・ 当初はライブで参加していたが、深夜受講がきつくなり録画されたものを見るように
 - ー 録画の映像では多くの講義で英語の字幕を出せた
 - ・ Office hours は複数の時刻に設定されていたので、日本からでも問題ない
 - ・ その他、講演のようなものが頻繁に開かれていた (参加せず)
 - ・ 残念ながら他の受講生と交流することはなかった
- ー プログラム側はオンライン上で交流できるように配慮していたが、利用はしませんでした

- ① 基本情報
- ② 履修 workshop
- ③ 聴講
- ④ 1日の流れ
- ⑤ 感想・反省

感想・反省

感想

- ・日本では体系的に学べなかったことが丁寧なカリキュラムで学ぶことができた

反省

- ・予想していた以上に余裕がなかった
 - 毎週課される課題、長い拘束時間
 - 英語で長時間
 - Rには親しんでいたが、うまくいかずに時間を浪費することも
 - 日本にいたので雑事が色々発生 (週末に講義を視聴することも)
- 複数人 TAがいるので、すぐに聞くとよいと思います
- プログラム側も推奨しているように、1セッションで宿題まで出すのは1つか2つにして、他に興味があるものは audit をするのがよいと感じました
- ・他の受講生との交流は、オンライン+時差のため、なかなか難しかった